

【緑地を楽しむ本】

『黒部の谷の小さな山小屋』

星野秀樹 写真・文 アリス館



黒部の谷にある小さな山小屋、阿曾原温泉小屋。露天風呂（温泉）やキャンプ場もあるのだが、たどり着くのはたいへんだ。緑濃い山道、断崖絶壁の岩をくり抜いた道やトンネルを抜けて行かねばならない。

絶景の中に立つ山小屋。ユニークなのは、冬の間は小屋は解体（分解）してトンネルにしまっておくのだ！山の斜面からなだれ落ちる雪でおし

つぶされてしまうから。6月に組み立てるのが、3日でできあがる。そのできあがってゆく様子の写真も楽しい（たいへんそうだが・・・）。

9月になると雪の下からあらわれてくる山道を、山小屋を管理している人々が直し始める。断崖絶壁に作られる丸太の道は、毎年雪の重さで壊れてしまうから。

黒部を訪れる人々のために、黒部を愛する人たちが懸命に力をそそぐ姿が、緑地の姿と重なります。

（遠藤）